

試合要項

- 1.適用規則については、本大会規則と2016年公認野球規則を併用する。
- 2.試合はトーナメント方式の7回戦とする。
- 3.試合開始後1時間30分を過ぎて新しいイニングには入らない。但し、1時間30分を経過したときリードしているチームが裏の攻撃中の場合は、次の回を最終回とする。（決勝戦を除く）
- 4.3回終了10点差、5回終了7点差にてコールドゲームとする。（決勝戦を除く）
- 5.同点の場合の扱いは、特別延長ルール（別途定める）もしくは抽選とする。（決勝戦を除く）
 - ※特別延長ルール
1死満塁・継続打順・一塁走者は前回の最終打者・二塁、三塁走者は順次、前の打者とし、1イニングを戦う。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で繰り返す、もしくは抽選とする。規則により認められる選手交代は許されるが、代打・代走は正規の選手が一旦所定の位置に着いてから交代する。
 - ※抽選
試合終了時に守備についていた選手9人で行う。
- 6.ダッグアウトは組み合わせ番号の若いチームが一塁側とする。
- 7.グラウンドルールは各会場の指定するルールに従う。
- 8.危険防止の為に用具は必ず使用する。
- 9.チームは試合開始の30分前までに、メンバー表（3枚）（準決勝・決勝は5枚）を大会本部に提出する。
- 10.本大会はバントを禁止とする。
 - ・バントによりバットにボールが当たった場合は、反則打球としてアウトとなる。
- 11.本大会は、チェンジアップをはじめとする変化球は禁止とする。
 - ・故意にチェンジアップをはじめとする変化球を投げた場合は、ボールとなる。また審判より「注意」が宣告される。
 - ・故意に投げていないナチュラルカーブおよびナチュラルシュートはその対象外とする。
 - ・打者が変化球を打った際に、安打になった場合は試合を続行する。（安打が認められる）
- 12.本大会は特別指名打者（EDH）を採用することが出来る。
 - ※特別指名打者（EDH）に伴う「特別ルール」
 - ・EDHを採用するチームは、チームのベンチ入りメンバーが11名以上である必要がある。
 - ・EDHは1人まで出場出来る。打順は自由に選ぶことが出来る攻撃のみの選手。
 - ・EDHの選手に代打、代走を送ることが出来る。
 - ・EDHの選手も途中から守備につく事が出来る。その時の打順は変わらずに攻撃にも参加できる選手。
 - ・EDHの選手が守備についている選手と交代して守備につく場合、守備についた選手は、攻撃のみとなるか、控えの選手がEDHとして出場する。但し打順は変わらない。
 - ・試合開始前にEDHを採用するか、採用しないかを申請する。EDHを申請したチームは、試合終了までEDHを採用しなければならない。尚、試合の途中からEDHの採用は出来ない。
- 13.監督、コーチによるベースコーチを認める。（同一ユニフォームを着用のこと）